



将来的な展望を持って 誰もが安心して暮らせる地域社会を



創和会 横溝 泰世
一 社会福祉法等の改正に伴う市としての考え方について

社会福祉法が制定されてから70年が過ぎ、平成12年には抜本的な改正により利用者本位の利益保護がなされた。その反面、高齢者・児童・障がい者分野において措置から契約へと移行したことは、行政責任の回避で、事業者への責任転換と施設利用者に責任を課したものと考える。こうした問題や課題を抱えた法律が毎年のように改正されているが、制度改革についての考えはどのようなか。

の選択肢が広がったことは良いが、将来の人口推計から考えると閉鎖する事業所が出る可能性があるため、総量規制をもって適切な配置計画をすべきだがどうか。また、高工賃を実現している事業者を評価する改正についてどう考えるか。

答 総量規制は、障害者支援委員会の意見も聞き検討を重ねる。また、障がい者に社会参加への喜びを導き自立を促進する事業者が生産性を重視する事業者より評価されるよう、国などに要望していく。



障害福祉サービス等事業所の適正な配置計画を(写真は、秦野市地域生活支援センターぱれっと・はだの)



表丹沢野外活動センターの 魅力ある施設への転換を図れ



公明党 山下 博己
一 水道水の効果的な活用について

秦野の水のペットボトル販売は環境負荷の問題があるため、全国で進められている独自のラッピングを施した水道管直結式ウォーターサーバーの設置を進め、マイボトルの活用を促すほうが大きな意義があると考えがどうか。

野と環境は密接な関係にある。将来を担う子どもたちが誇りに思える環境への取り組みを期待する。二 表丹沢野外活動センターの今後の在り方について

答 SDGsの理念や脱炭素社会の実現は、一人一人の環境問題への取り組みや、子どもたちへの意識付けが重要であり、ウォーターサーバーの設置効果も含め、今後、環境保全意識の共有を図る。意見 自然に恵まれた湧水の里秦

野と環境は密接な関係にある。将来を担う子どもたちが誇りに思える環境への取り組みを期待する。二 表丹沢野外活動センターの今後の在り方について



「畦畔」市への譲与地の説明と 官民それぞれの適正な管理を



自民・新政 高橋 文雄
※畦畔の管理について

法に基づく管理がなされない公共物であるあぜ道や水路などに付随する畦畔について、平成12年に国から譲与を受けているが、現在の管理状況はどのようなか。

所有する農家があるが、最終的には個別に判断されるため、財務省に相談してほしい。要望 市へ譲与された畦畔について、市民へ丁寧に説明してほしい。豪雨災害などによる二線引畦畔の崩落被害が発生しているが、支援制度はどのようなか。

答 市の管理責任があるが一律に管理することは難しく、地域などの協力を得て管理している。二 農地と接する、地番が付されていない国有地である二線引畦畔について、所有者である国が管理すべきと考えるが、どうか。

答 国の助成制度では対象外だが、要件に合致するものについては令和元年台風第19号の被害を受け創設した市の補助制度で対応できる。畦畔の危険性を認識しているも、経費面などから維持管理が難しい事例もある。令和3年度に創



今こそヤングケアラー支援と ペアレント・プログラムの実現を



公明党 中村 英仁
一 ヤングケアラーの支援について

ヤングケアラーの問題において、早期発見・早期支援が重要であり、本市における独自のヤングケアラーの実態調査と、専用の相談窓口が必要と考えるが、現状はどのようなか。

今後関係部署とも相談しながら、検討していきたい。要望 子どもたちの未来を明るくしていくために、今こそヤングケアラーが相談できる中心拠点を創設してほしい。二 発達障がい児及び家族の支援について

答 調査や周知の内容、方法など検討すべき課題が多くあるため、事業者との連携を進めることが最もふさわしいと考えるがどうか。

答 まずは、どのような支援を必要としているのか保護者から丁寧にニーズの聞き取りを行い、神奈川県等の発達障害支援センターの取り組みなどの状況を把握した上で検討していきたい。要望 発達障害の子どものため

答 自然体験拠点としてたくさんの人に利用してもらえよう、指定管理者制度の導入も含めた方向性について、早期に決定する。この事業は民間主導で進めることが重要。特にキャンプ場の運営実績があり、地域貢献を望む民

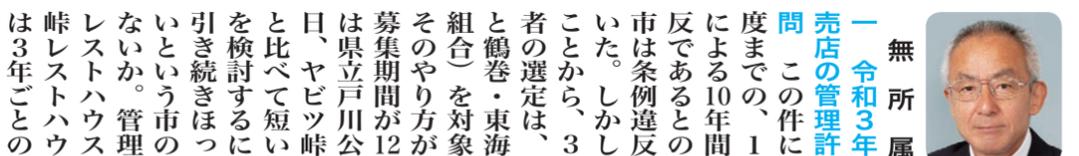
観光を中心とした施設への転換を(写真は、表丹沢野外活動センター)



自然災害による脅威が増す中 公民で協力した畦畔の管理が求められる

倒木の恐れがある危険木の伐採や崩落土砂の撤去にかかる費用について、10万円を限度に助成するものである。要望 制度の対象外となるような局所的な被害にも対応してほしい。

答 倒木の恐れがある危険木の伐採や崩落土砂の撤去にかかる費用について、10万円を限度に助成するものである。要望 制度の対象外となるような局所的な被害にも対応してほしい。



またぞろ不適切と思われる おおね公園売店の管理許可



無所属 吉村 慶一
一 令和3年度以降のおおね公園売店の管理許可について

この件については、令和2年度までの、1者を対象とした覚書による10年間の管理許可は条例違反であるとの私の指摘に対して、市は条例違反ではないと答弁していた。しかし不適切な事務であることから、3年度以降の管理許可者の選定は、2者(協同組合ほつと鶴巻・東海大学駅前商店会協同組合)を対象とした公募としたが、そのやり方が不適切ではないか。



おおね公園売店

募集期間が12日間しかなく、これは県立戸川公園レストハウスの36日、ヤビツ峠レストハウスの54日と比べて短い。これでは新規参入を検討するには十分な時間がなく、引き続きほつと鶴巻に管理させたという市の意向があったのではないか。管理許可の期間も、戸川レストハウスは当面1年、ヤビツ峠レストハウスは2年で、その後3年ごとの更新となっている。

答 対象団体から募集内容に理解を得られており、公平な募集と事業者の選定を行えたと考えている。許可期間を5年としたのは、「秦野市の施設に係る指定管理者制度に関する指針」を参考にした中で、設備投資の負担や人員確保など、安定的で継続的な経営に支障が出ない期間とする必要があると判断したためである。

議会の動向

- 5月 27日(木)・議案送付
- 31日(月)・議会運営委員会・議会運営委員会小委員会
- 議案追加送付
- 6月 3日(木)・代表者会議
- 議会運営委員会
- 市議会第2回定例会開会 【傍聴者数1人】
- 7日(月)・本会議(議案審議) 【傍聴者数6人】
- 議会運営委員会 【傍聴者数1人】
- 議会運営委員会小委員会
- 9日(水)・総務常任委員会 【傍聴者数1人】
- 予算決算常任委員会(総務分科会)
- 10日(木)・文教福祉常任委員会 【傍聴者数3人】
- 予算決算常任委員会(文教福祉分科会) 【傍聴者数1人】
- 11日(金)・環境都市常任委員会 【傍聴者数2人】
- 14日(月)・議会運営委員会小委員会
- 15日(火)・本会議(一般質問) 【傍聴者数19人】
- 16日(水)・本会議(一般質問) 【傍聴者数5人】
- 17日(木)・本会議(一般質問) 【傍聴者数33人】
- 追加議案送付
- 22日(火)・議会運営委員会
- 予算決算常任委員会
- 市議会第2回定例会閉会
- 議会運営委員会
- 議会報編集委員会
- 議会運営委員会小委員会・議会報告会検討会
- 7月 1日(木)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第2回定例会
- 議会運営委員会小委員会
- 9日(金)・議会運営委員会小委員会
- 16日(金)・代表者会議・議員連絡会
- 議会運営委員会・議会運営委員会小委員会
- 議会報告会検討会
- 26日(月)・議会運営委員会小委員会
- 8月 4日(水)・議会報編集委員会
- 議会運営委員会・議会運営委員会小委員会

用語解説 ※畦畔…田畑などの耕作地を区切るあぜのこと。ここでは、土地の区画や地番を示す公図において、田畑などの間に介する細長い土地を指す ※ペアレント・プログラム…育児に不安がある保護者、仲間関係を築くことに困っている保護者などを、地域の支援者(保育士、保健師など)が効果的に支援できるよう設定されたグループ・プログラム ※ペアレント・トレーニング…保護者が子どもとのより良い関わり方を学びながら、日常の子育ての困りごとを解消し、子どもの発達促進や行動改善を目的とした保護者向けのプログラム